

武蔵野の森を育てる会

2010年12月 武蔵野の森を育てる会

HP : <http://mnomori.web.fc2.com/>

会報—第5号—

当会は、武蔵野市公認の緑ボランティア団体です。武蔵野市緑化環境センターとの協働によって、市立「^{さかいさんやりよくち}境山野緑地」に豊かな生態系の雑木林（森）を育てるために保全活動を行っています。



園路にはみ出した草を刈ります。



植物研修で森の木や草に親しみます。

作業をとおして、地域やボランティアの方と交流できることが楽しいです。
(地域の方)

適度に手を入れなければ自然との共生は難しいと、身をもって体験できました。(大学生)

小さなお子さんから、学生やシニアまで、いろいろな方が集まり、みんなで和気あいあいと森のお手入れを楽しんでいます。

作業はとても楽しく、無心になれました。この森がますます好きになりました。(地域の方)

鎌を使った草刈は初めてだったけれど、教わりながらやれて楽しかったです。(中学生)



作業後は楽しくお茶で交流です。



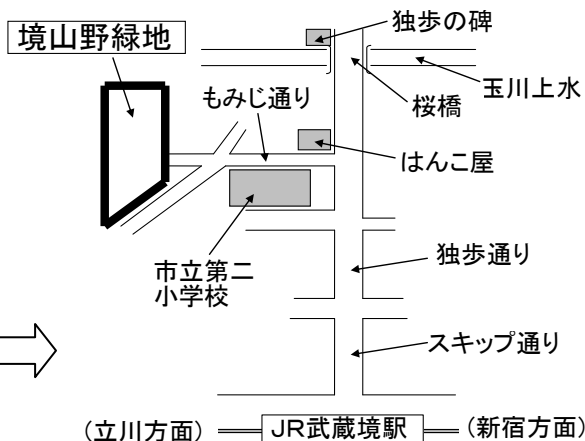
江戸時代から自然の命が連綿と続く「独歩の森」。国木田独歩の小説『武蔵野』の舞台となった雑木林です。

一緒に森のお手入れをしませんか？

定例作業は、原則として第2日曜と第4土曜。月々の予定は、ホームページや境山野緑地内の掲示板でお知らせしています。(道具類の購入などのため、寄付も常時受け付けています。)

境山野緑地は、JR中央線武蔵境駅北口より徒歩十分、スキップ通りを直進してはんこ屋さんの角を左折です。

(住所：東京都武蔵野市境 4-5)



この旗が集合場所の目印！

境山野緑地の将来イメージ

武蔵野の原風景にふさわしい野草や樹木が育ち、それを好む野生の生き物（昆虫、野鳥など）が集まり、全体として生態系の豊かな雑木林(森)ができあがる。

このようなイメージの実現をめざし、日常の清掃や外来種の草とり、繁殖力の強いササや野草の刈込み、苗木の育成、産物活用法の研究（竹林、椎茸、夏蜜柑、堆肥等）、各種研修などを行っています。こうした地道な活動を効果のあるものにするため、以下のような活動にも力を入れています。



植物調査

保全活動の効果を検証するため、緑地内に 10m 四方の調査区をつくり、植生調査を行っています。2005 年に二小の子どもたちが植樹に参加した「二小ゾーン」では、2008 年から 2010 年の間に 53→48 種（うち、外来種は 12 種→5 種）でした。種数が減ったことは、多様性の低下ではなく、保全活動により外来種を抑えていることと、森の発達にともない草原や道ばたの種から森林の種に置き換わったことによります。南側の「独歩の森」では、1 箇所目は 2009 年に 39 種、2010 年に 42 種（うち外来種は 3 種、2 種）でした。今年から調査をはじめた 2 箇所目は 59 種（うち外来種は 1 種）で、森林生の種も多く出現していました。「独歩の森」は中央部では植物が衰退していますが、多くの種が残っていることがわかりました。

環境教育

武蔵野市立第二小学校の総合的な学習の時間、都立武蔵高等学校の授業「奉仕」、日本獣医生命科学大学の授業、地域の子どもの活動グループなど、青少年の環境教育に協力しています。生態系や生物多様性の大切さについて、子どもや若者たちが体験や授業をとおして学んでいます。このようにして、武蔵野本来の雑木林や森の自然を守り育てる活動を、次世代に引き継ぐよう努めています。



独歩の森でクヌギとコナラの木を探す子どもたち(第二小学校授業)



草刈に励むインターンシップ生

インターンシップ

内閣府「地域社会雇用創造事業」の一環として行われた「グラウンドワーク・インターンシップ」（中核団体：NPO法人グラウンドワーク三島）に協力しました。これは、環境再生、まちづくり、NPOの立ち上げなどをを目指す人たちに対し、仕事体験の場を提供する研修事業です。当会では 19～25 歳の 4 名の研修生を受け入れ、8 月 20 日から 9 月 23 日まで約 1 ヶ月間にわたり、緑地での作業に参加

してもらいました。また、他地域における雑木林の管理、武蔵野市の緑化及び市民協働の政策、武蔵境活性化委員会の取組みなどについて、学習の機会を提供しました。

地域のネットワーク形成

当会の活動は、地域住民や市民の方々のご協力やご参加をはじめとして、下記のようにさまざまな組織・団体とのネットワークによって支えられています。亜細亜大学と成蹊大学の学生ボランティア・サークルは、毎回の作業に参加してくれます。武蔵野市立第二小学校、同境保育園、同境幼稚園、境福祉の会、青少協第二地区委員会、武蔵境活性化委員会、地元商店会など、地域の諸機関・団体にさまざまな形でご協力



いただいています。全市レベルでも、ボランティアセンター武蔵野、武蔵野市NPO・市民活動ネットワーク、むさしのネイチャーゲームの会、生活クラブ生協、クリーンむさしのを推進する会、武蔵野青年会議所をはじめ、多様な団体からご協力いただいています。さらに、市内外の専門家や専門機関・団体の方々からつねにアドバイスをいただきながら、より良い活動をめざしております。